

高機能性断熱材による断熱性UP 省エネ・CO2削減に貢献

POINT

○高機能断熱材の切替えによる断熱性UP

従来品より熱伝導率が低く、以下のような
メリットが挙げられます。

- ✓ガス使用量削減
- ✓CO2排出量削減
- ✓炉壁外面温度の低下
- ✓昇温時間短縮
- ✓炉外への放熱量低減
- ✓断熱材層の削減

○削減効果

<年間コスト削減効果>※1

- ・バッチ炉 : 280,000円/年
- ・RH型連続炉 : 1,250,000円/年

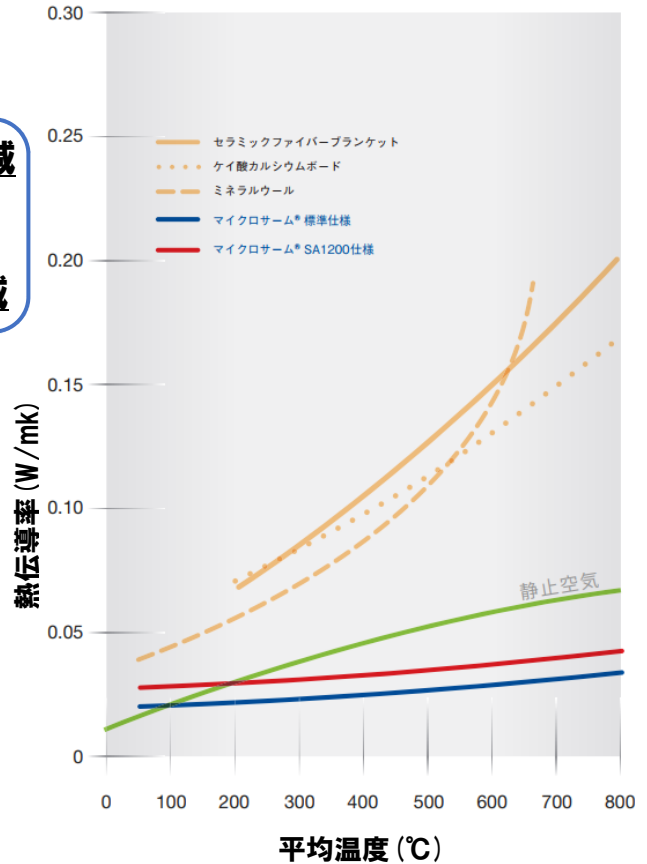
<年間CO₂削減効果>※1

- ・バッチ炉 : 10ton/年
- ・RH型連続炉 : 44ton/年

※1 都市ガス単価 ¥60/m³ 24時間×340日/年稼動として算出

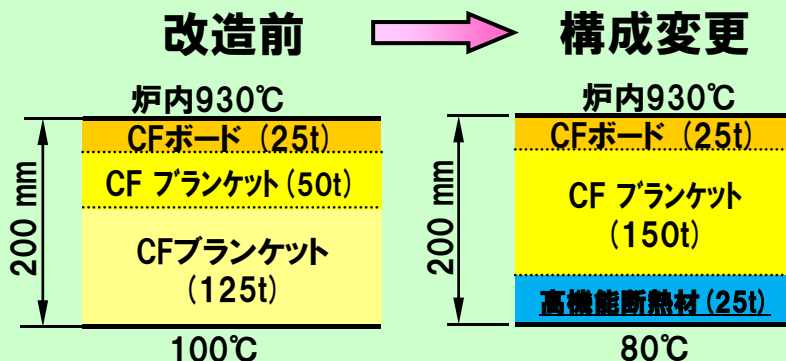
出典：プロマット・ジャパン株式会社マイクロサームカタログより

各断熱材の熱伝導度



○費用対効果

例：浸炭炉で高機能断熱材に更新した場合



放熱量 効果 ▲28%
総ランニングコスト ▲7%

断熱材更新時、
高機能断熱材を採用した
場合の差額は
約2年ほどで回収可能